

平成21年(2009年)4月16日

市議会議員 様

企画調整部長

新港埠頭に「新たなまち」が誕生します ～ 官公庁施設の集約でより便利に ～
輸出自動車の一時的置き場(積み出し場)として利用している新港埠頭を、さまざまな人が訪れ活気のある市民交流の場として実現するため、平成25年度を目標に「新たなまち」をつくります。

その敷地面積は、約2.6ヘクタールで、JR横須賀駅前のヴェルニー公園とほぼ同じです。

「新たなまち」は、国・県・市の官公庁施設が立地する「官公庁ゾーン」と店舗などが立地する「賑わいゾーン」から成ります。

また、交通便利の観点から、既成市街地から連続性のある道路や区域外周道路を新設・整備します。

1 官公庁ゾーン

市内に点在している国の行政機関の施設を合同庁舎として集約統合するとともに、裁判所と横須賀警察署の移転が検討されています。

また、三春町にある市の救急医療センターを移転し、診療科の増設や待合室のスペースを今よりも拡充するなど利用環境の改善を図ります。

(官公庁ゾーン形成の目的)

(1) 必ずしも交通の便が良いわけではない市内の官公庁施設を移転・集約することにより市民の利便性を向上させるため。

(2) 県内の警察署の敷地規模としては、最大級の面積が確保できる三浦半島の安全の拠点となる警察署を整備するため。

(3) 市内に点在する官公庁施設は、築30年以上経過し、建物の老朽化が著しく、多くの庁舎が建替えの時期を迎えているため。

2 賑わいゾーン

官公庁ゾーンや三笠公園などを訪れる人々が休憩できる施設、横須賀のお土産や新鮮な地場産の野菜や魚介類を販売し、海軍カレーが食べられる飲食店などの施設および大型バスを含めた駐車場の整備を検討します。

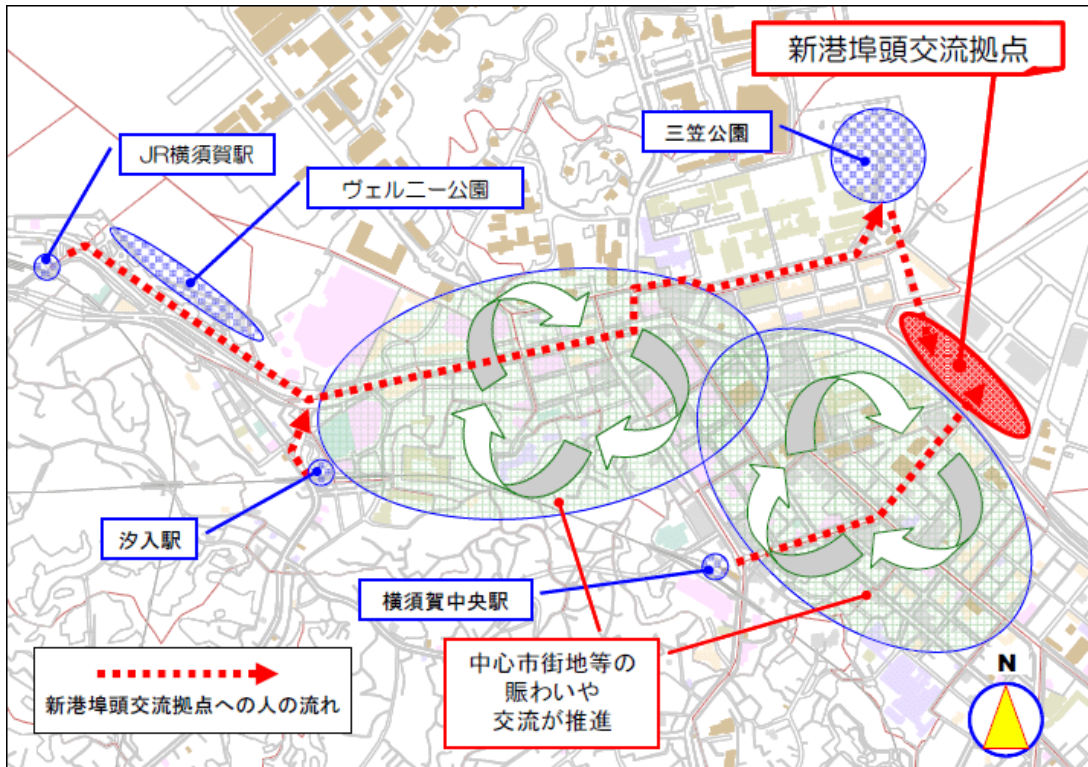
(賑わいゾーン形成の目的)

(1) 官公庁ゾーン、港や三笠公園などを訪れる人々が、横須賀中央駅周辺の中心市街地へ向かう新たな人の流れを創出するため。

(2) 中心市街地および周辺地区の賑わいや交流が推進し、まちが活性化することで、交流人口を増加させるため。

(参考)

■位置図



■新港埠頭交流拠点の土地利用

